



令和元年11月27日発行 中等新報第29号
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

市長とのふれあいトーク ～郷土への思い満載～



休憩タイムに、積極的に高橋市長に質問する生徒



寸劇を交えて、自分たちのプランを紹介するグループ

11月8日（金）、5年生対象に、今年で3年目となる「市長とのふれあいトーク」を実施しました。初めに、高橋邦芳市長から村上市の抱える「人口減少問題」の説明がありました。2008年に70,000人だった人口が、今年4月1日時点で59,822人、2040年には約41,000人に減少する見込みであり、この問題にどのように立ち向かうかが喫緊の課題であるとのこと。併せて、おしゃぎり、お人形様巡り、朝日の能など、村上固有の資源を生かした各種事業が紹介されました。その後、以下のとおり、各グループからの提案発表がありました。

① 住んでみよう 村上の町屋(空き家をリフォームして、宿泊可能な町屋を作る)、② おしゃぎり ひいてみれっしゃ！（観光客にお囃子や甚句のレッスン、おしゃぎり体験）、③ つなげる個性 つながる世代(小・中・高と地域学習を経験した若者が高等教育をとおして各分野で強い個となり、各自のスキルによって村上と世界を結びつける)、④ 村上城復元(村上城を観光資源として活用。資金は、クラウドファンディング、ふるさと納税で)、⑤ 村上探訪 with 竹灯籠(観光ルートの開発、案内webサイトの運営)、⑥ GROW YOUR INSPIRATION IN MURAKAMI CITY(村上を舞台として、アート作品コンテストを開催する)

高橋市長からは、一つ一つの提案に対して丁寧な感想をいただきました。とりわけ、「対症療法ばかりでは、もはや地方都市はもたない。本日の提案のように、若者たちの自由な発想や新しい視点が求められている」との言葉が印象に残っています。5年生の積極的な姿勢に頼もしさを感じた一日でした。

生徒たちの提案を聴き、要点を記録する高橋市長



「村上城復元」プランをプレゼンするグループ



新潟県立村上中等教育学校

〒958-0031 村上市学校町6番8号 TEL.0254-52-5101 FAX.0254-53-6773
HPアドレス <http://www.murakami-ss.nein.ed.jp>